

医学英語演習（向井義晴）

Advanced course of Medical English (Yoshiharu Mukai)

キーワード

- ① 英語論文
- ② 論文執筆
- ③ 歯科・医学英語
- ⑤ 実験英語

授業概要

グローバルな研究者には英語力、すなわち英語による会話・プレゼンテーション・ディスカッションの能力、英語による文章・論文作成能力が必須の要件となっている。本演習では、英語論文執筆能力の向上を目標とし医学英語を教授する。

授業科目の学修目標

グローバルな研究者には英語力が必須の要件である。本演習では、英語論文の執筆能力を醸成することを目標に、医学英語を教授する。

授業計画

- ① 英語論文執筆について 8コマ 高垣裕子

教科書および参考書

ライフサイエンス英語表現使い分け辞典（羊土社）、ライフサイエンス英語 類語使い分け辞典（羊土社）
学術英語論文および医学や科学に関するNY Timesの記事

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

本医学英語演習では授業項目と関連する英語を熟読し、概要を理解することが求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 研究に必要な内容を英語で執筆できる。
- ② 学位論文を英語で執筆できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	10%	80%	0%	0%	10%	0%

評価の要点

- ・ レポートは、毎講義日で課題を提出する。20%×4回=80%
- ・ 口頭試問は、講義時に逐次行う。10%
- ・ 小テストは、毎講義日に講義を聴講し、理解に務めたかを判断する。2.5%×4回=10%

理想的な達成レベルの目安

医学英語演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。